

Ⅲ. 第3号議案(2006年度活動方針)

1. 2006年度活動方針

国内景気がようやく本格的な回復基調に向い、企業のIT投資も‘守り’から、他社との差別化を図り、競争を勝ち抜くための‘攻め’に重点がおかれはじめている。一方、ユビキタス社会の進展により、ITの浸透が一層進む中、個人情報保護法や日本版SOX法などへの対応が新たな経営課題となってきた。このように企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、ITは経営戦略の中軸としてますます重要なものとなっている。

このような状況の中、2006年度は、会のスローガンである「語りあう夢、きそいあう知恵」の下、会員相互の情報交換・情報交流並びに相互研鑽をより一層推進し、会員企業の課題解決を支援することに重点を置いた活動を展開する。

また、富士通ユーザー会の一つである「リーディングエッジシステム研究会(LS研)」とより一層の連携を図り、参加機会の拡大など会員サービスの向上を図る。

◆ 会員企業の課題解決のための活動推進

- ▶ RFID、モバイル、セキュリティ、内部統制(日本版SOX法)等、IT利活用における最新技術情報、先進事例等の情報提供を推進する。
- ▶ ITスキルアップおよびコーチング、モチベーション、セルフマネジメント等のヒューマンスキルアップを図る活動を積極的に推進し、次代を担う人材の育成を支援する。

◆ コミュニケーション強化

- ▶ 分科会等の少人数制による継続した研究活動を中心に、異業種交流による人的ネットワーク作りを支援する。
- ▶ 富士通との意見交換会並びに各種研究会活動を通じ、富士通とのパートナーシップ強化を図る。

◆ 会員サービスの向上

- ▶ 県別、地区別など地域に密着した活動並びに実務に直結したテーマや階層別セミナーなど地域の特性に合わせた様々な切り口の活動を実施し、会員の利便性の向上、参加機会の拡大を図るなど、多様化する会員ニーズに対応した決め細やかな行事運営サービスを推進する。

2. 2006年度活動予定

37ページ以降を参照ください。